

Stick Camとは元々江戸時代
近藤助衛門氏が開発したものである。

その晩は風が強く吹いていた。
助衛門氏は部屋で刀の錆をどうにかする仕事をしながら
夜を明かしていたのだった。

生来、侍として生きとし生ける者の立場とするならば
刀磨きは自身を磨くための儀式とも言えたであろう。

その日は149本もの刀磨きに没頭しなければならない日であった。
刀を磨きながら助衛門氏は思った。

死にたい！

この一言がS t i c k C a mの始まりだった。

助衛門氏がやけになり動画をうpした途端
世界中の刀ファンが助衛門氏の元を訪れる。
一日の動画再生数は5兆を超え、もはや【助衛門の刀磨くんなら俺んとこへ来い】は
知らぬ者すらいない伝説の動画となった。

時は流れ平成の世
侍の意思を継がんとする二人の猛者の誕生である。

空飛ぶ新聞紙
凸69

二人は音楽を通じて刀磨きの素晴らしさと伝統を語り継がんとする二人・・・
今宵も刀で首を斬ってみたり音楽やったり首を斬ってみたりR e m i xしたり
首を斬ってみたりととても忙しい毎日。
是非ともご拝聴あれ

<http://www.stickam.jp/video/179438726>